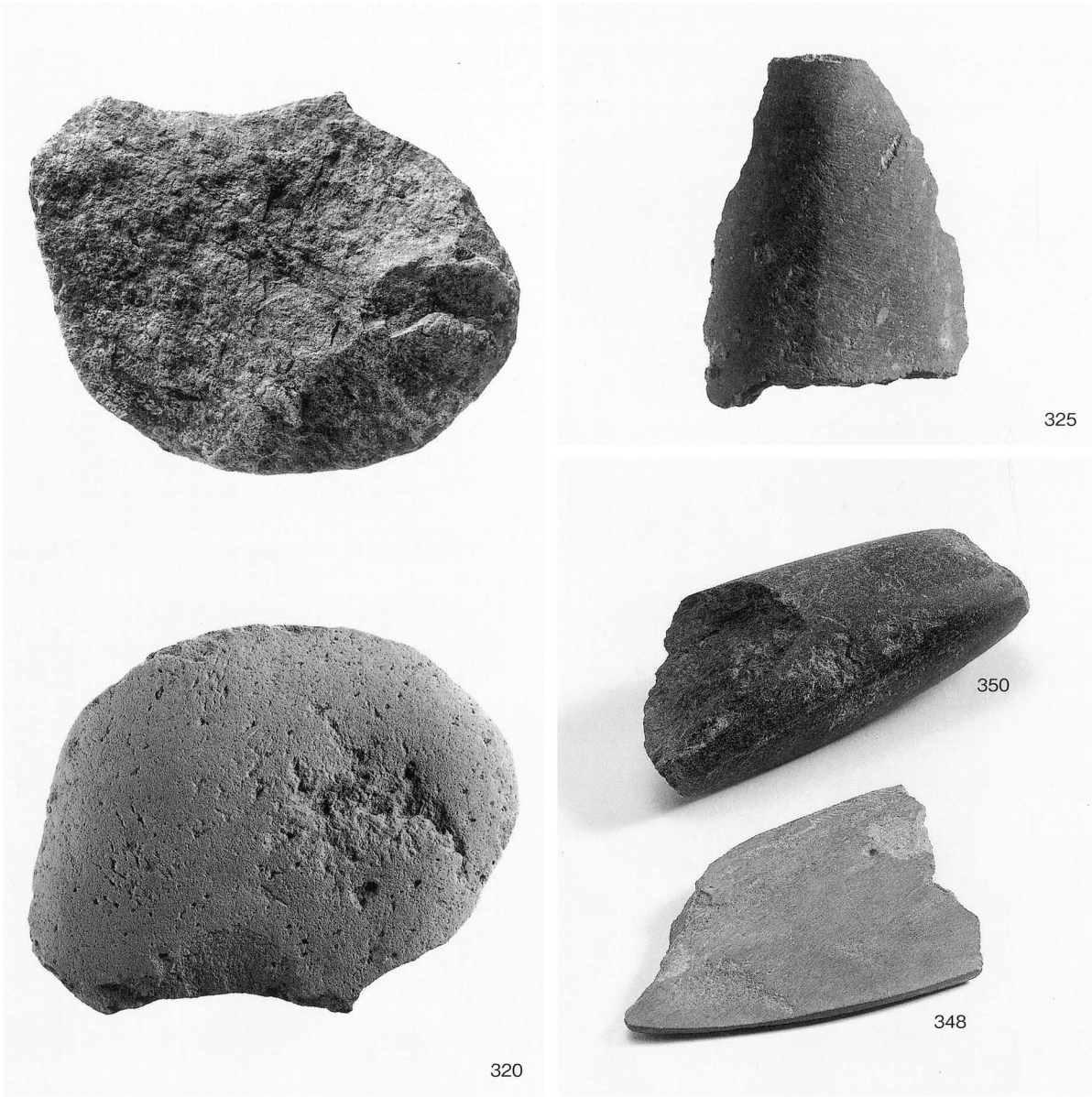
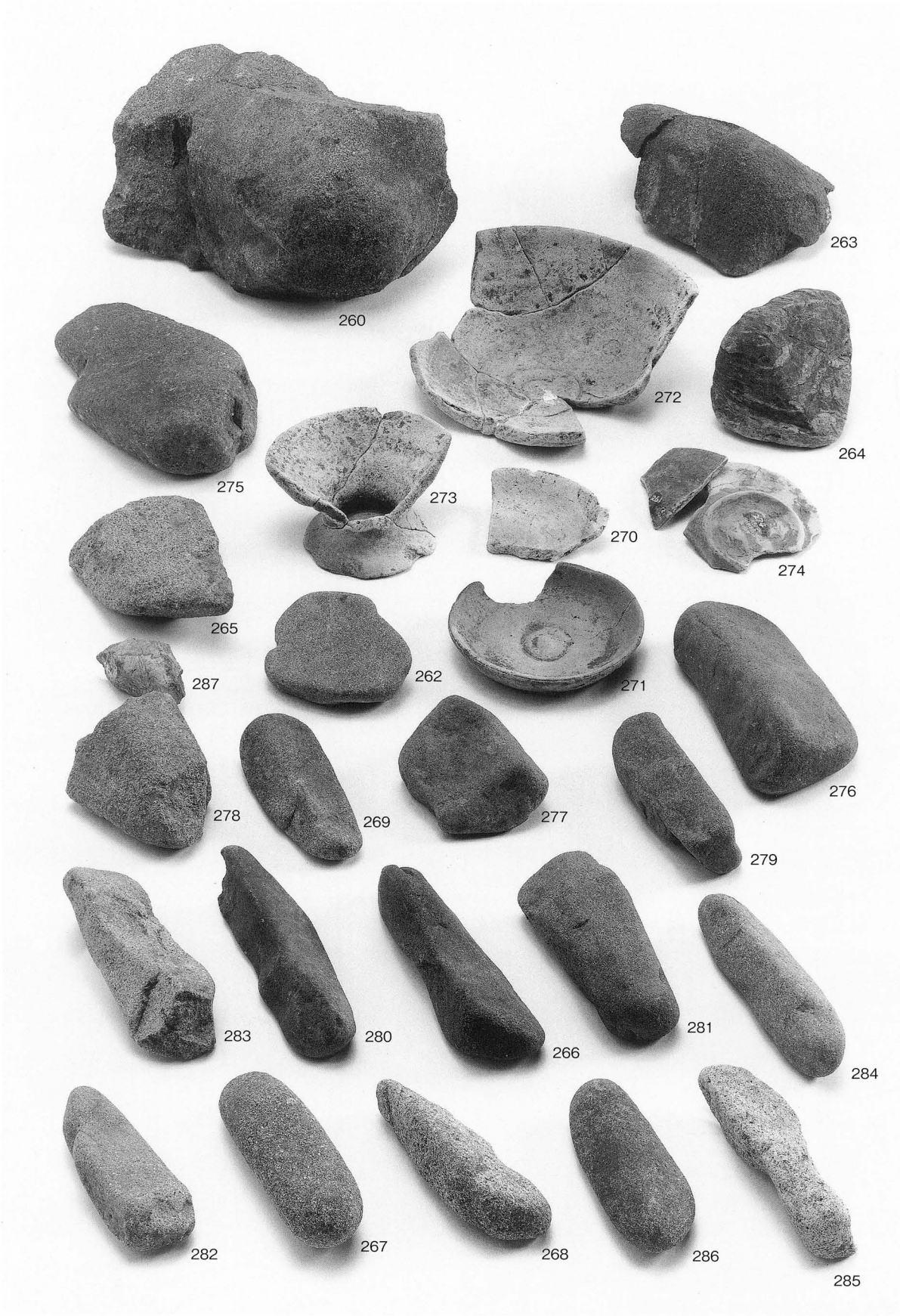


1．出土遺物（ＳＰ975：320、ＳＰ117：325、表採：348・350）

2．ＳＰ1296出土遺物(1)



1．ＳＰ1296出土遺物(2)

報告書抄録

ふりがな	くめたかばたけいせき
書名	久米高畑遺跡
副書名	26次調査
巻次	
シリーズ名	松山市文化財調査報告書
シリーズ番号	第127集
編著者名	小玉亜紀子・梅木謙一・大西朋子
編集機関	松山市教育委員会、財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター
所在地	市教委：〒790-0003　松山市三番町６丁目６番地１　TEL(089)948-6605 埋　文：〒791-8032　松山市南斎院町乙67番地６　TEL(089)923-6363
発行年月日	西暦2008年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
久米高畑遺跡26次 （くめたかばたけいせき）	松山市来住町887他 （まつやましきしまち）	38201		33° 48′ 30″	132° 48′ 8″	19960321 ～ 19960623	1,326㎡	宅地開発

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
久米高畑遺跡26次	集落	縄文晩期	土坑（1基）	大小の深鉢・浅鉢・台石	墓の可能性あり
	集落	弥生時代 （前期末～中期後半）	掘立柱建物址（１棟） 土坑（90基） 溝（７条） 柱穴（14基）	土器・石鏃・石庖丁 土器・石器・管玉 土器	中期後半 貯蔵穴を含む
	集落	古墳時代	掘立柱建物址 溝	土器・石器 土器・石器	官衙関連遺構 （7C代）
		中世	柱穴 倒木	土師器・川石 土師器	祭祀的遺構

要約

調査では、縄文時代から中世までの集落関連遺構や遺物を確認した。縄文時代では晩期前半の土坑が検出され、遺物の出土状況から墓としての性格をもつ可能性が高い遺構である。弥生時代では前期末から中期初頭に時期比定される土坑が77基検出され、断面形態から貯蔵穴としての機能をもつ土坑もあるが、遺物の出土状況から最終的には土器廃棄のために使用された遺構と考えられる。古墳時代から古代においては、竪穴式住居址や掘立柱建物址が検出され、このうち、総柱建物である掘立柱建物址は方位と規模から、官衙関連の建物址である可能性をもつ。

松山市文化財調査報告書　第127集

久米高畑遺跡　－26次調査－

平成20年３月31日　発行

編・集　松山市教育委員会
発　行　〒790-0003　松山市三番町６丁目６番地１
TEL（089）948-6605

財団法人松山市生涯学習振興財団
埋蔵文化財センター
〒791-8032　松山市南斎院町乙67番地６
TEL（089）923-6363

印　刷　セキ株式会社
〒790-8686　松山市湊町７丁目７番地１
TEL（089）945-0111